



# 日南市中学生憲章

私たち日南市の中学生は、豊かな自然の恵みを受けながら、日南の偉人・小村寿太郎侯の「誠の心」の教えを志しながら、学びを深めてきました。

これからも「たくましい体 豊かな心 すぐれた知性」をそなえ、この美しい郷土の自然や歴史、文化を愛し、新しい時代を積極的に切り拓く心身ともに調和のとれた中学生をめざし、行動目標として次のことを誓います。

まこと



「誠の心」を忘れず、  
自分にも他人にも誠実な中学生になります。

とうとぶ



個性や感性の違いを尊重し、  
多様性を認め合える中学生になります。

ゆめ



未来に夢や希望を抱き、  
学び続ける中学生になります。

いどむ



失敗をおそれず、  
何事にも粘り強く挑戦する中学生になります。

りっする



社会性（ルール、マナー、モラル）を身に付け、  
自律した中学生になります。

## 中学生憲章制定

中学生憲章は、日南市の理念や教育基本方針を踏まえ、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、自らの行動を決断し、実行する力である「自己指導能力」を身に付けるための行動目標です。

日南市の中学生の目指す姿について、中学校10校の代表生徒と保護者、教職員で構成された日南市校則検討委員会において話し合い、日南市生徒指導連絡協議会中学校部会で審議を重ね、令和5年2月に日南市中学校長会の承認を得て、制定されました。

中学生憲章の構成は、前文と本文の2部構成です。

前文は、本市中学生の歩みと、本市の教育基本方針により行動する決意を述べています。

本文は、5項目の箇条書きで、各文の冒頭には、文章の意味を一言で表す一字を置いて、本市が目指す中学生の行動目標を示しています。

### 前文の解説

前段、本市は、海・山・川等の豊富な資源を有するとともに、小村寿太郎侯の功績から学びを深めてきたことを述べました。

後段、「たくましい体 豊かな心 すぐれた知性」という日南市教育基本方針を記し、この歴史ある美しい故郷と先人たちが築き上げた文化を愛し、これから時代を担う中学生としての目指す姿を述べました。

また、文末の「誓います。」により、中学生一人一人が自覚をもって、新時代を生き抜くための「自己指導能力」を身に付けることができるよう、「中学生の宣言」型としました。

### 本文の解説

日南市民憲章の特徴の一つとして、5つの本文それぞれのキーワードとなる「一字」を表示しています。そこで、中学生憲章にも行動の指針となる「一字」を表示しました。

**誠（まこと） 「誠の心」を忘れず、自分にも他人にも誠実な中学生になります。**

小村寿太郎侯の「正直であれ」という言葉にあるように、自分にも他人にも正義を貫き、一途な生き方を大切にする中学生を目指すことを表しています。

**尊（とうとぶ） 感性や個性の違いを尊重し、多様性を認め合える中学生になります。**

これから時代は、SDGsを視野に入れたダイバーシティとインクルージョンを推進し、助け合いながら生活していくことが大切になります。多感な時期だからこそ、相手を思いやり、仲間のことを考え、行動に移せる中学生を目指すことを表しています。

**夢（ゆめ） 未来に夢や希望を抱き、学び続ける中学生になります。**

夢を叶えるためには、先を見通して計画を立て、それに向けて努力し、学び続けることが大切です。「4つの学ぶ力（他者から学ぶ力、自ら学ぶ力、自然から学ぶ力、社会から学ぶ力）」を育むことを通じて、社会的・職業的自立を目指すことを表しています。

**挑（いどむ） 失敗をおそれず、何事にも粘り強く挑戦する中学生になります。**

これから時代は、先が見えず予測困難な社会です。失敗し壁にぶつかることがあっても、その失敗を糧として何度もチャレンジすることで、創造性を育み、自らの生涯を生き抜く力を身に付けた中学生を目指すことを表しています。

**律（りっする） 社会性を身に付け、自律した中学生になります。**

私たちは、将来を担う日南市民としての自覚をもち、責任ある行動が求められます。そこで、自分の行動を振り返りながら、ルール・マナー・モラルについて自ら考え、判断し実行する中学生を目指すことを表しています。